

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
北区交流まつり2018		北区交流まつり実行委員会			
事業目的	事業内容	活動指標	H28	H29	H30
北区内に住む人々や働く人々などが集い、まつりに参加することを通じて、相互の連帯感を高めるとともに、交流と親睦を深め、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	北区15校区の模擬店出店・歌や踊りのステージ、子どもコーナー（ふわふわ・ミニSL）、お茶席、各種団体出展コーナー・警察・消防車両の展示などを行う。また、「北区域健康のつどい」を同時開催する。	来場者数(人)	35,000	30,000	33,000
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 今年度で18回目の開催となり、多くの来場者で賑わう北区最大の行事として定着している。 また、まつりに参加することを通じて、住民相互が交流できる機会になっている。	◎ 北区15校区の自治連合会長と北区長からなる実行委員会方式で企画・運営している。 また、ステージや警備などの各担当部会にも、多くの住民が参画し、協働で運営にあたっている。	◎ 毎年恒例となっている北区15校区による模擬店出店や各種団体出展コーナーに加え、本年は堺少女歌劇団のステージ出演など新しい催しも加わり、多くの来場者に楽しんでもらうことができた。	○ 区職員や住民など、多くのスタッフが関わる行事であるが、事前に担当部会の会議を開催し、作業内容を周知徹底することで、当日は大きなトラブルもなく効率的な運営を実現できている。		
⑤自立発展性	総合評価				
○ 様々な団体に関わる大規模な行事であり、円滑な運営を図るためにも区が事務局を担うことは不可欠であることから、自立発展ではなく、住民との協働を推進していくべきである。	◎ 当日は天候にも恵まれ、多くの区民に来場していただき、盛況のうちに行事を終えることができた。 また、スタッフ同士が綿密に連携を取り合うことで、目立ったトラブルや事故もなく円滑な運営を実現できた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	北区交流まつりは18回目の開催となる北区最大の行事であり、また、企画運営に行政のみならず多くの区民が参画し、協働で運営する事業となっている。区民が集い、交流できる機会として次年度以降も継続していくべき事業である。				